

津山の子どもたちは？



津山新星会議
小椋 多

教育

問 義務教育課程修了後、進学、就職をしない子どもたちへの対応は。

答 進学、就職をしなかった子どもたちを無業者数として把握しており、過去3年間では卒業生数全体の1%程度で、毎年10数名となっている。

原因は進学、就職の希望が叶わなかった生徒が3分の2程度、病気や不登校状態で進学、就職を希望しなかった生徒が3分の1程度。背景には、病気や対人関係に課題を抱えている事例もあり、鶴山塾では、卒業後新規のケース相談も受け付けている。

ている。学校としては最後まで丁寧な指導を心がけている。

問 美作高校通信課程との連携はできないか。

答 美作高校通信制課程は、卒業後の進路の重要な選択肢の一つであると考えている。



【その他の質問項目】

◆総合計画審議会廃止に関する条例改正について

◆費用対効果の検証

農林業において鳥獣被害、竹林被害対策は



緑風会
西野修平

鳥獣被害対策

問 鹿は森林について国の整備方針である皆伐しての植林を行った際に苗木の被害を起し、猪は田畑を荒らすなど農林業における被害は甚大である。最終的な策は頭数を減らすことしかないと思うがどうか。

答 津山市鳥獣被害対策実施隊による駆除活動を一層推進してまいりたい。

竹林被害

問 竹林被害対策では里山や植林そして耕作放棄地が竹の繁殖に負けて荒廃しているが対策は。

答 本年度より「生活

・里山・森づくりアダプト事業」で、侵入地区の伐採・除去活動、里山景観を維持するための活動費や炭焼き小屋、チップ等資材に対して支援する。

問 竹炭を使って料理講習を行っては。

答 キャンプ等での木炭の代替え燃料として、出前講座等で紹介したい。



学校現場にタブレット、電子黒板を！



津山誠心会議
中島完一

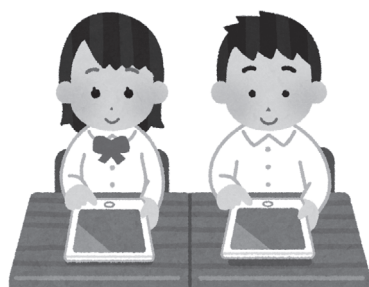
教育環境整備

問 文部科学省では、平成26年度から「教育のICT化に向けた環境整備4力年計画」を策定し、4年間の総額6712億円の地方財政措置を講じている。計画では、市町村向けに平成27年度に小学校1校当たり568万円、中学校1校当たり559万円が交付税算入されている。

津山市もこの制度を利用して学校現場へのICT(※)化を年次的に整備する必要があると思うがどうか。

答 津山市では、第5次総合計画の主要事業として「学校ICT環境整備事業」を位置付

けており、中長期的な視点で、教育効果の高い機器の整備を計画的、重点的に進めてまいりたいと考えている。



【その他の質問項目】

◆観光行政
◆福祉について